

0テレホールディングス

GEAR UP, GO GLOBAL

2026年度第1四半期 決算説明資料

2026年7月31日

本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれています。しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承ください。また、本資料の無断転載はお断りいたします。
本資料内で%表示をしているものに関しては、前年同期比の増減率となります。

Contents

株主還元・資本政策

決算概況

コンテンツ戦略

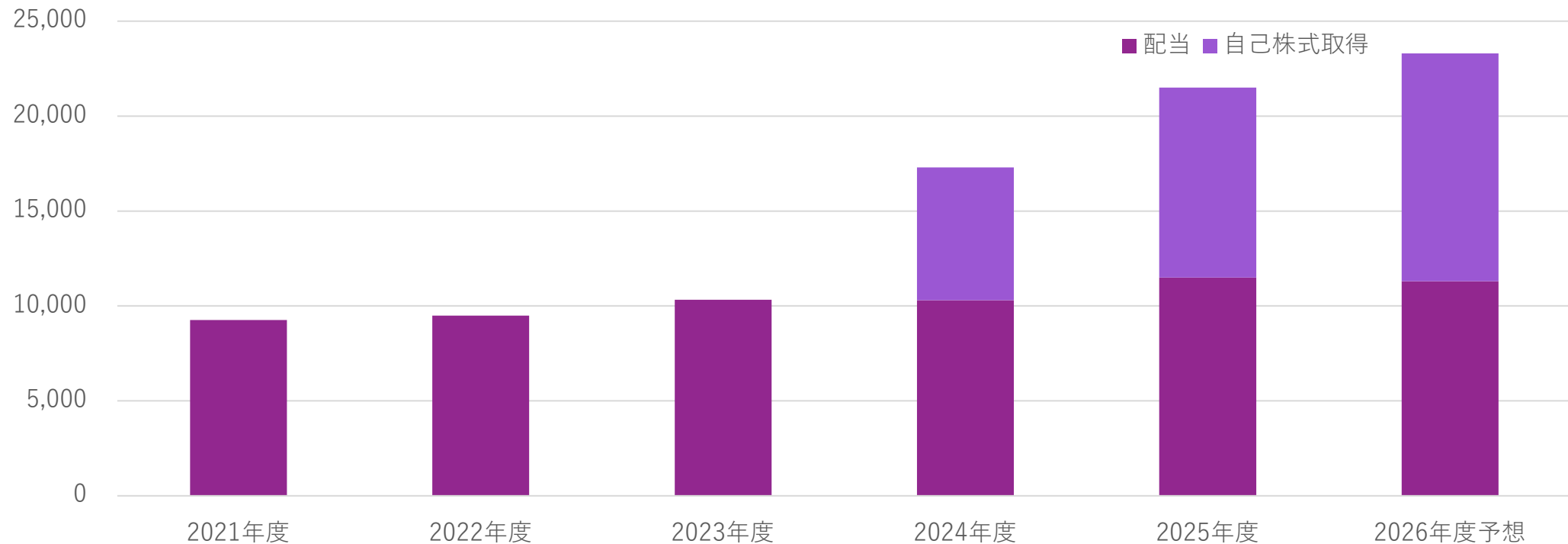
編成戦略・デジタル・配信

戦略的投資

補足資料

株主還元

(百万円)



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
配当（1株/円）	37円	37円	40円	40円	45円	45円（予定）
自己株式の取得	－	－	－	69.99億円*	99.99億円	120億円（予定）

* 2024年度欄に記載の自己株式取得は2024年2月から5月にかけて実施しています

自己株式の取得・政策保有株の縮減

自己株式の取得

- 取得する株式総数：5,200,000株（上限）取得価額の総額：12,000,000,000円（上限）
- 取得期間：2026年5月15日～2026年8月31日
- 取得方法：①TosTNeT-3(自己株式立会外買付取引) による買付 取得総数：2,300,000株
②東京証券取引所における市場買い付け

* 取得する全株式を消却する予定です

政策保有株の縮減

- 上場有価証券 1 銘柄の一部を第1四半期に売却
投資有価証券売却益：196億3,700万円 特別利益に計上
- 当該企業の業績、配当、株価など定量的側面を考慮の上、保有の合理性を検証した上で継続的な縮減を進める

コーポレートガバナンス・コード改訂に則した対応

株主資本コストを上回る資本収益性を確保していくことは重要だと認識しています。

中期経営計画2025-2027では「ROEの向上に努める」などの資本政策を掲げていますが、現在新しい資本政策について社内での検討を深めています。投資の一層の拡大を中心にした成長戦略の推進を通して、売上を増加させ利益を上げていくとともに、バランスシートの適正な姿についても検討をしていきます。

2026年度第2四半期決算発表までに、資本コストに配慮した新たな資本政策の方針を示していきます。

(参考) 中期経営計画におけるキャッシュアロケーション

資本政策・株主還元方針

資本効率の向上と適切な株主還元

2025年度から2027年度の間に生み出すキャッシュフローで成長投資を賄い、収益基盤の拡大を目指します。
政策保有株を縮減し、総還元性向35%以上を新たな目標に株主還元を推進します。
果敢な投資を通じて成長戦略を推進し、企業価値の向上に邁進していきます。



政策保有株の売却

純資産残高の20%未満とすることを目指して売却を進める。

成長投資

「1,000億円の投資枠設定による成長支援の加速」に沿った投資を実行する。

設備投資・人的資本投資等

現有設備の更新を中心とした設備投資を実行するとともに、既存アセットの有効活用として、番町の再開発などを推進する。

2028年以降、成長戦略の起点となるアセット投資は、合計で1,000億円規模を想定する。
日本テレビグループの人材は重要な資産と認識し、人的資本にかかわる投資も推進する。

株主還元等

継続的で安定的な株主還元を基本方針としつつ、総還元性向35%以上を目指していく。
株価動向等を勘案しながら、自己株式の取得も意識する。

またROEの向上につとめ、バランスシートマネジメントを強化する。

※手許現金の考え方

いかなる有事でも放送を維持するための緊急時資金2,000億円規模を手許資金として継続保有する。

Contents

株主還元・資本政策

決算概況

コンテンツ戦略

編成戦略・デジタル・配信

戦略的投資

補足資料

決算概況

微減収営業減益

＊親会社株主に帰属する四半期純利益は増益

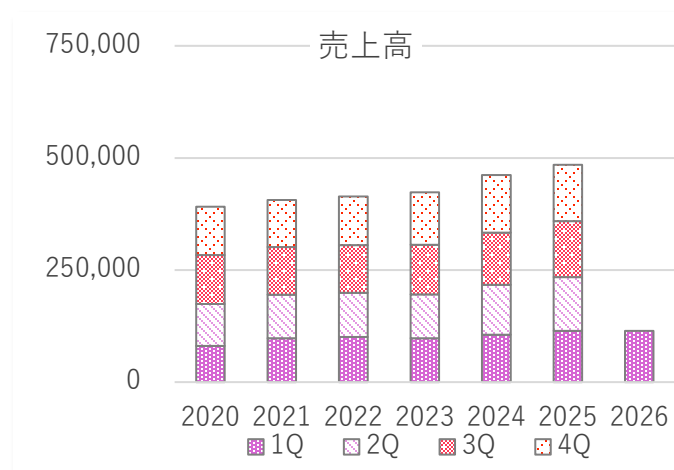
- FIFAワールドカップ2026の放送により、タイム収入は増収。
スポット収入は前年の反動減もあり、地上波広告収入はトータルで減収
- 番組制作費はワールドカップに伴い増加
- 事業収入は好調だったものの、日本テレビ放送網は微減収減益
- 番組関連グッズや展覧会関連グッズなど、商品販売収入の増加により
日本テレビサービスが増収増益
- 日本テレビグループの企業のうち8社が過去最高売上。2社が過去最高営業利益
- 特別利益において政策保有株売却に伴う、投資有価証券売却益を計上
KANAMELを完全子会社化したことに伴う段階取得に係る差益も計上
これらによって、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益

日本テレビホールディングス：連結決算

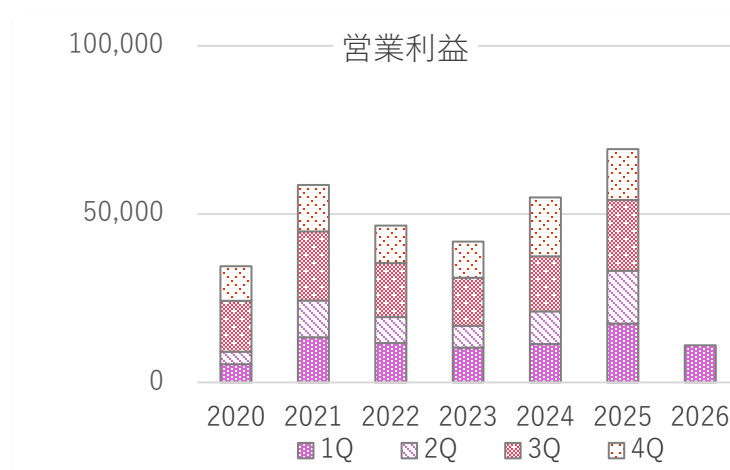
(単位：百万円)

	2025年度 1Q	2026年度 1Q	前年差	増減率
売上高	114,649	114,595	△53	△0.0%
営業利益	17,475	11,075	△6,400	△36.6%
経常利益	21,826	14,658	△7,168	△32.8%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	14,788	22,656	7,867	53.2%

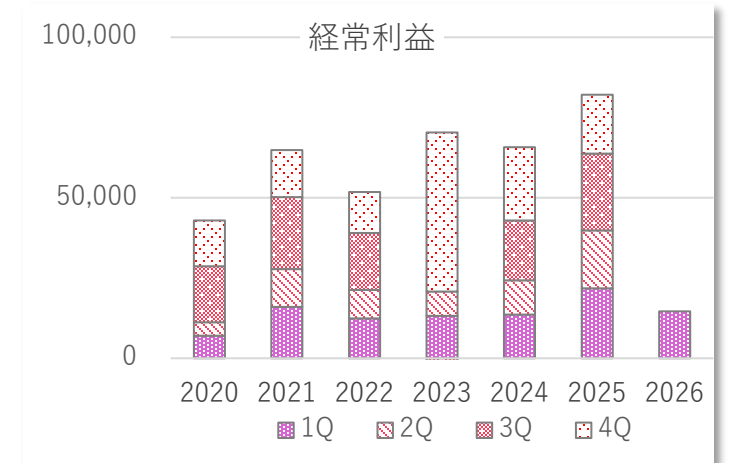
(百万円)



(百万円)

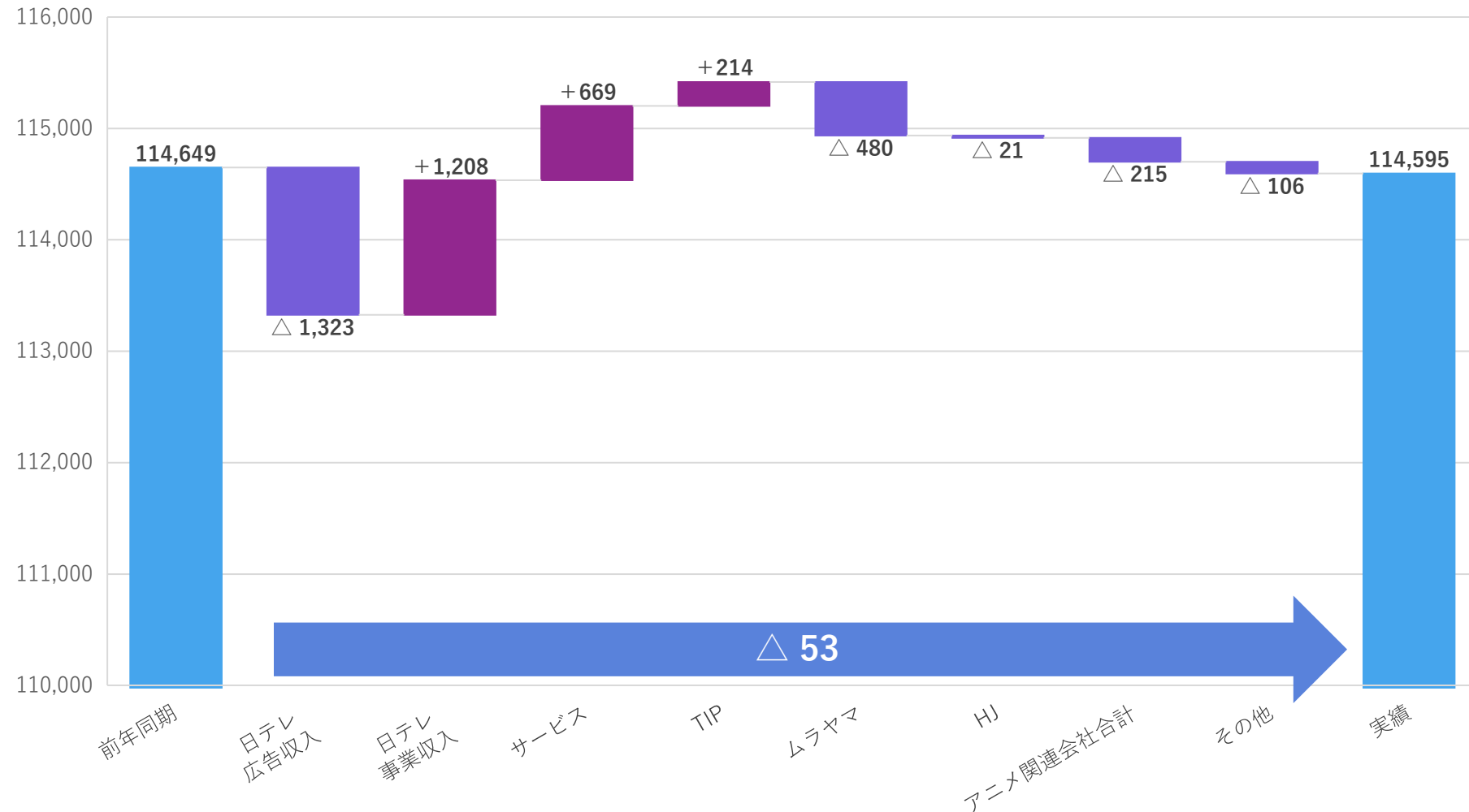


(百万円)

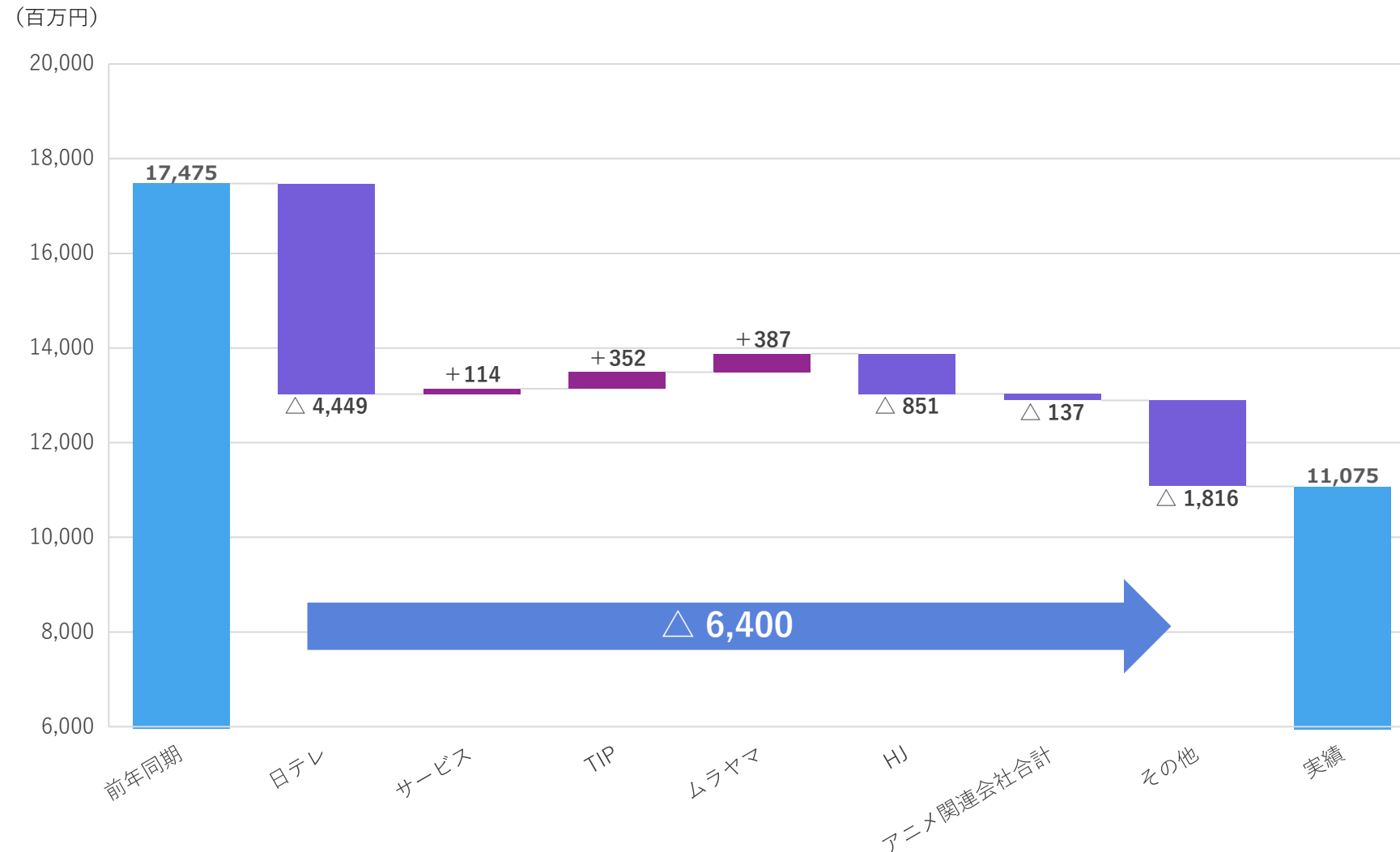


売上高の前年同期増減分析

(百万円)



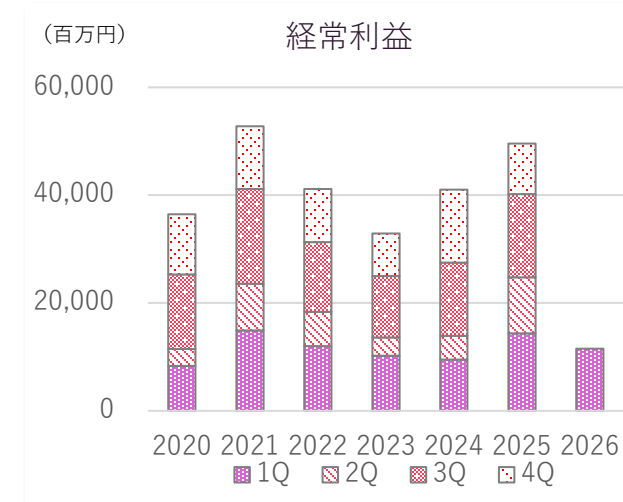
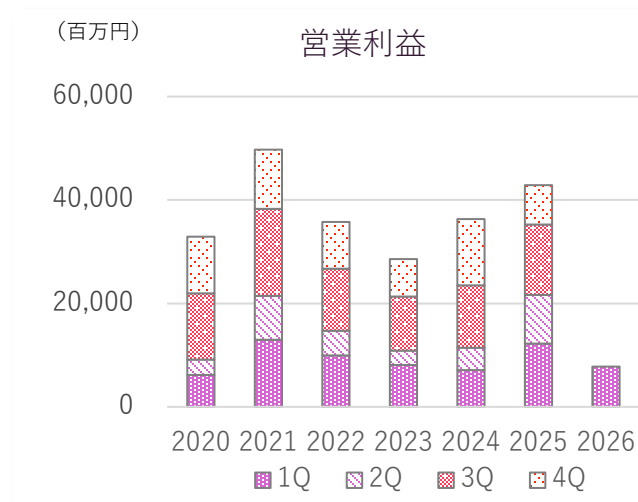
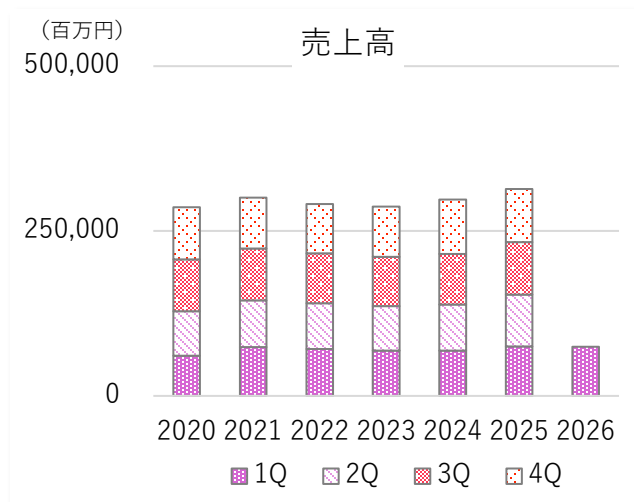
営業利益の前年同期増減分析



日本テレビ放送網：決算

(単位：百万円)

	2025年度 1Q	2026年度 1Q	前年差	増減率
売上高	75,001	74,605	△395	△0.5%
営業利益	12,255	7,805	△4,449	△36.3%
経常利益	14,357	11,529	△2,827	△19.7%
四半期純利益	9,954	21,415	11,461	115.1%



日本テレビ放送網：広告収入状況

(単位：百万円)

	2025年度 1Q	2026年度 1Q	前年差	増減率
広告収入	58,496	57,172	△1,323	△2.3%
タイム	24,747	27,530	2,782	11.2%
スポット	31,198	27,391	△3,807	△12.2%
デジタル広告	2,549	2,250	△299	△11.7%

2026年度広告収入 前年同月比

タイム	増減率
4月	0.0%
5月	5.3%
6月	27.1%

スポット	増減率
4月	△11.1%
5月	△9.9%
6月	△15.8%

デジタル広告	増減率
4月	△12.0%
5月	△7.0%
6月	△15.2%

日本テレビ放送網：営業収支詳細

(単位：百万円)

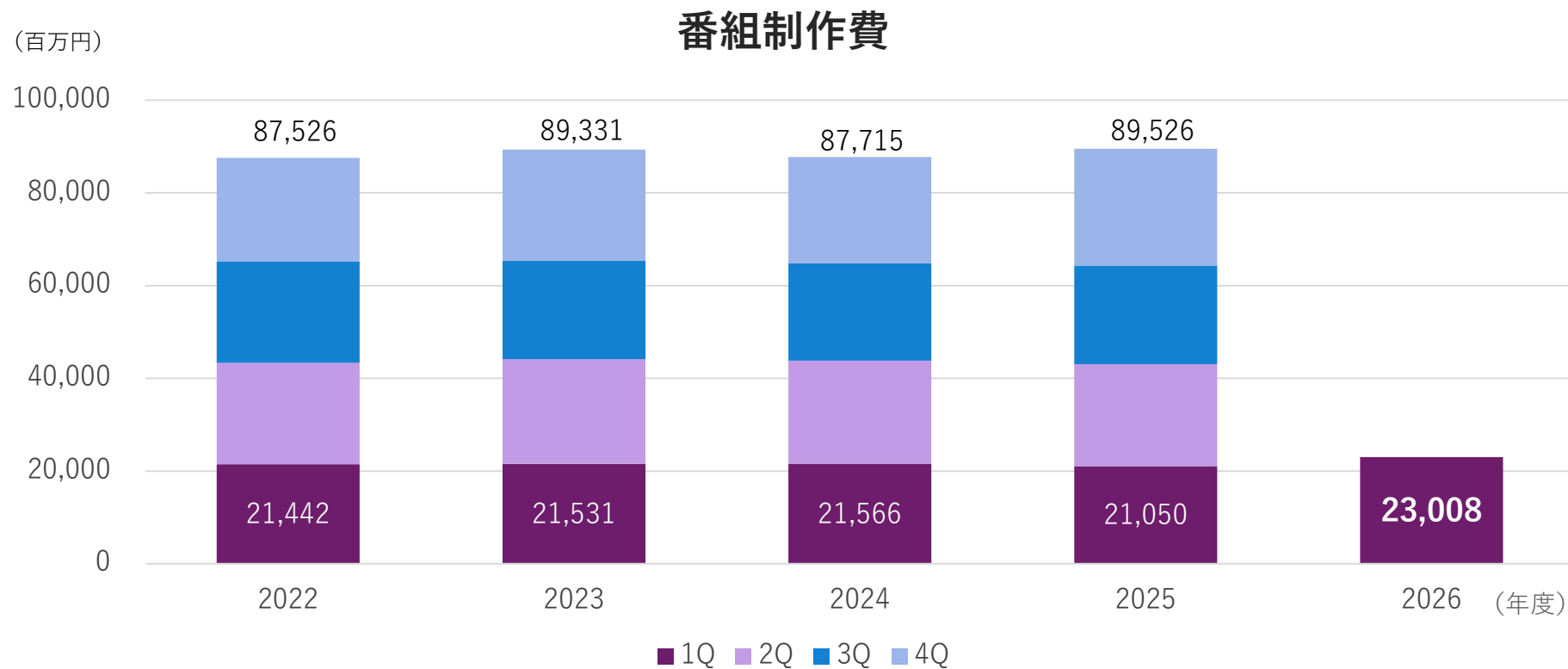
営業収入	2025年度 1Q	2026年度 1Q	前年差	増減率
広告収入	58,496	57,172	△1,323	△2.3%
番組販売収入	2,718	2,580	△137	△5.1%
事業収入	12,994	14,203	1,208	9.3%
不動産賃貸収入	792	650	△141	△17.9%
合計	75,001	74,605	△395	△0.5%

営業費用	2025年度 1Q	2026年度 1Q	前年差	増減率
番組制作費	21,050	23,008	1,958	9.3%
人件費	5,451	5,581	129	2.4%
減価償却費	1,921	2,012	91	4.8%
事業費	11,827	12,531	704	6.0%
その他	22,496	23,667	1,171	5.2%
合計	62,745	66,799	4,054	6.5%

日本テレビ放送網：番組制作費

(単位：百万円)

2025年度 1Q	2026年度 1Q	前年差	増減率
21,050	23,008	1,958	9.3%



日本テレビ放送網：主な事業収支

(単位：百万円)

	収入		収支		特筆点
	2026年度 1Q	増減率	2026年度 1Q	増減率	
アニメ	2,048	23.4%	528	△32.3%	作品数増加に伴い売上増。収支では「薬屋のひとりごと」の反動減
映画	1,194	27.8%	749	41.3%	「コナン」好調。過去作品の配信収入が増加
ミュージック& アーティストセンター	1,664	44.6%	594	189.0%	BMSGフットボール、No No Girls IP収入が牽引
イベント	1,684	△2.6%	176	△25.3%	「ガウディ展」好調も、前年の「モネ展・京都」「ジブリの立体造形物展」の反動減
リテールビジネス	1,983	△3.4%	107	△18.8%	ワールドカップ放送のため、テレビ通販放送時間が減少
海外ビジネス・ 配信ビジネス (除アニメ)	1,009	78.6%	730	81.6%	グローバルプラットフォームへのバラエティ番組やドラマ過去作品の販売が好調
コンテンツビジネス等	627	△13.5%	81	△66.1%	オリジナル作品のセールス件数が減少

*旧「IPビジネス」は、社内の組織名称に合わせ「ミュージック&アーティストセンター」に変更

*旧「海外番販(除アニメ)」は「海外ビジネス・配信ビジネス」に変更。なお、昨年売上の一部は「コンテンツビジネス等」に振替
配信サイトへのドラマの売上は「コンテンツビジネス等」に計上

主なグループ会社の状況

2026年度 1Q

* 連結決算への影響がある会社を中心とした、日本テレビ放送網以外のグループ会社

(単位：百万円)

	BS日本		CS日本		日本テレビ音楽		バップ		ティップネス		ムラヤマ	
売上高	4,592	3.7%	2,212	△1.9%	2,503	10.2%	1,557	△8.2%	6,898	3.2%	4,606	△9.4%
営業利益	405	△33.2%	△150	—	588	△2.1%	288	12.6%	42	—	265	—

	日本テレビサービス		タツノコプロ		HJホールディングス		ACM		PLAY	
売上高	2,396	38.8%	541	△7.8%	7,975	△0.3%	1,251	1.6%	2,789	9.9%
営業利益	188	154.6%	175	—	393	△68.4%	169	△10.4%	339	△30.2%

※前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は(－)表記

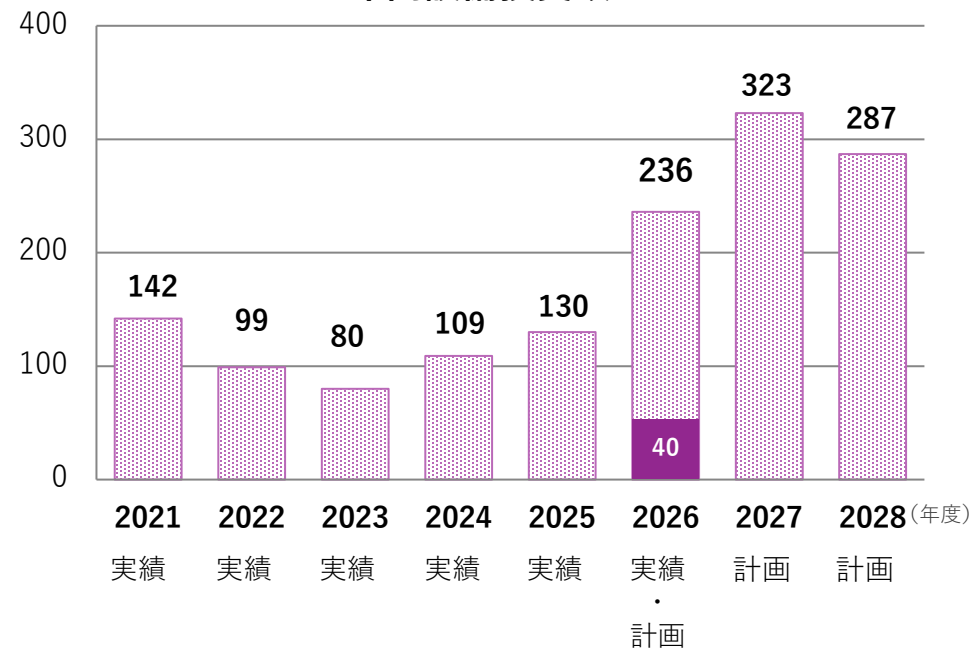
設備投資と減価償却

(単位：億円)

	設備投資額	減価償却費
2026年度 1Q	40	29

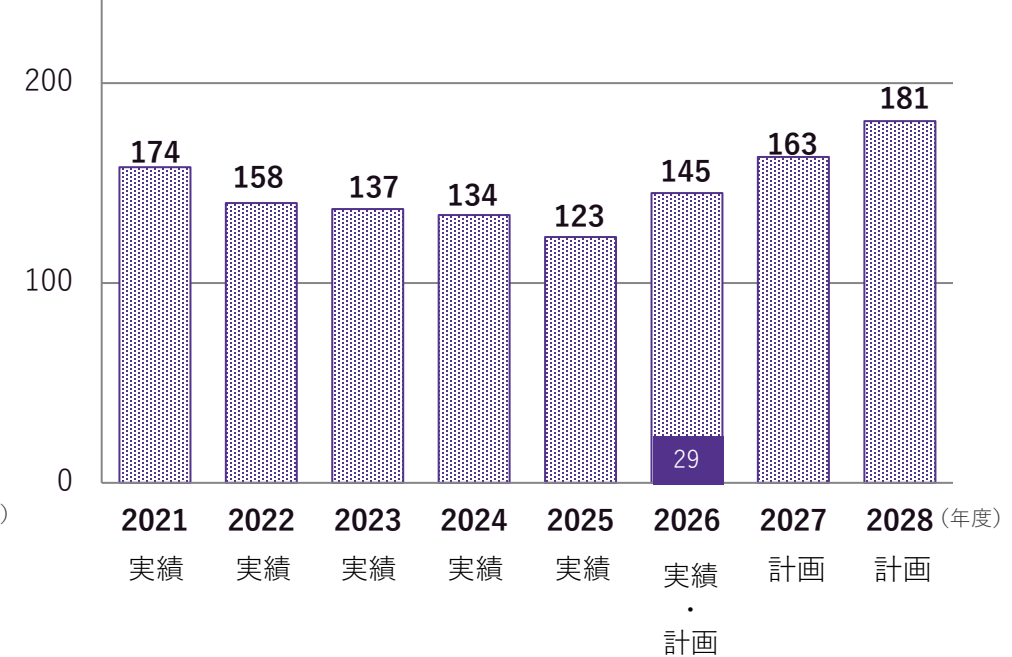
(億円)

年間設備投資額



(億円)

年間減価償却費



連結業績及び配当予想

※今回修正はありません

業績予想

(単位：百万円)

	2025年度 実績	2026年度 予想	増減率
売上高	484,418	535,000	10.4%
営業利益	69,332	49,000	△29.3%
経常利益	82,081	59,000	△28.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	56,767	51,500	△9.3%

配当

(単位：円)

	第2 四半期末	期末	合計
2026年度 予想	10	35	45

2026年度 日本テレビ
地上波広告収入見込み（対前年増減率）

前提	2026年度 予想
タイム	0.3%
スポット	△6.0%

Contents

株主還元・資本政策

決算概況

コンテンツ戦略

編成戦略・デジタル・配信

戦略的投資

補足資料

スタジオジブリ①

- ジブリパークにて「**パノラマボックス展**」及び「**魔女の谷の夜**」の上映開始
7月8日よりジブリパークのジブリの大倉庫にて、新企画展示「パノラマボックス展」が始まりました

“パノラマボックス”とは、中をのぞくと奥行きのある仕掛け絵が広がる絵箱のことで、宮崎駿監督が、自身の監督作などを題材に、

ジブリパークのために3年半かけて描きおろした最新作です。全部で31点が展示されています。

また同日より、ジブリパークの「魔女の谷」を舞台にした、同園初のオリジナル新作短編アニメーション「魔女の谷の夜」（宮崎吾朗・山下明彦が共同で監督）の上映が映像展示室オリワン座にてスタートしました。本作はスタジオジブリの最新アニメーション作品です

- 「**ジブリパーク展**」

7月18日より、大阪南港ATCギャラリーにて、ジブリパーク（愛知県長久手市）の世界をぎゅっと凝縮した体験型の展覧会「ジブリパーク展」が開幕しました
大人も子どもも「みて、さわって、まわって楽しい」小さなジブリパークの魅力もジブリパークと同じく「来てみなけりゃ、わからない。」

9月26日まで開催予定です



© 1986 Hayao Miyazaki
/Studio Ghibli



© Studio Ghibli



© 2026
Goro Miyazaki,
Akihiko Yamashita
/Studio Ghibli

スタジオジブリ②

■ 「金曜ロードショーとジブリ展」 7会場連続で歴代動員数記録更新

金曜ロードショーの歩みと共に、スタジオジブリ作品の魅力を辿る展覧会です

これまで、東京、富山、京都、広島、秋田、三重、長崎、福島、静岡、大分会場が終了し、

7月5日まで開催されていた愛媛展では約18万人を動員し、愛媛県美術館の史上最多動員記録となりました

7会場連続で各県内の歴代動員数記録1位を更新 総動員数も225万人を超えました

現在開催中の山口展は10月12日までとなり、11月3日からは佐賀で開催予定です

	会場	入場者数
秋田展	秋田県立近代美術館	17万人
三重展	三重県総合博物館・三重県総合文化センター	23万人
長崎展	長崎県美術館	20万人
福島展	福島県立美術館	21万人
静岡展	静岡県立美術館	24万人
大分展	大分県立美術館	19万人
愛媛展	愛媛県美術館	18万人



山口会場のようす



© Studio Ghibli

スタジオジブリ③

■ スーパー歌舞伎「もののけ姫」

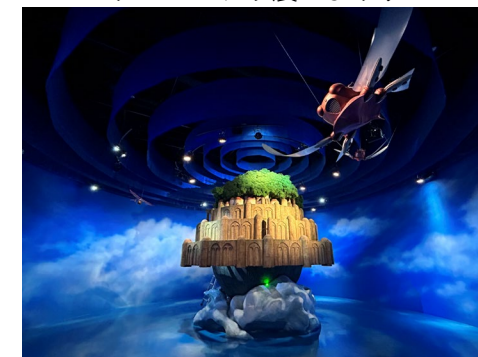
スタジオジブリ 宮崎 駿監督の不朽の名作が、伝統と革新を融合させたスーパー歌舞伎に！
伝統と革新を融合させたスーパー歌舞伎の待望の新作『もののけ姫』が誕生しました
ダイナミックな演出と壮大なスペクタクルで不朽の名作に新たな息吹を吹き込み、
新たな輝きを放つ本作は、連日多くの観客を魅了しながら新たな歴史を刻んでいます
新橋演舞場にて8月23日まで上演中です



■ 「スタジオジブリ展 in チェジュ」

2026年7月11日より、韓国・済州島（ドンファビレッジ内ドンファ・アート・センター）にて
同国内最大規模となる「スタジオジブリ展 in Jeju」が開幕しました
「となりのトトロ」のネコバスなど名シーンを再現した巨大な屋内展示に加え、
同ビレッジ内には「魔女の宅急便」をテーマにした「コリコカフェ」や
公式ライセンスグッズのショップも展開しています
屋内外を繋ぐエリア全体がジブリの世界観で構成されており、
作品の魔法を空間全体で没入体験できる特別なイベントとなっています

スタジオジブリ展のようす



映画事業

劇場版『**名探偵コナン ハイウェイの墮天使**』が
観客動員925万人、興行収入136.5億円突破（7/26時点 公開中）
の超大ヒット！！

累計興収245億円のシリーズ最新作『**キングダム 魂の決戦**』
は公開10日間の興行収入33.5億円の超大ヒットスタート！！

4月に公開された『名探偵コナン ハイウェイの墮天使』は
興行収入136.5億円を超える大ヒットをし、4年連続で100億円を
突破しました

累計動員1700万人超の超人気シリーズ最新作『キングダム 魂の決戦』が7月17日に公開
興行収入33.5億円（7/26時点 公開中）を超え、本年度の邦画実写映画No.1となる
超特大ヒットスタートを記録！

シリーズ最高興行収入を目指します



©2026 青山剛昌／名探偵コナン
製作委員会



©原泰久/集英社
©2026映画「キングダム」製作
委員会

2026年7月期 新作アニメ

『これ描いて死ね』

マンガ大賞 2023 大賞受賞!!

東京都の島しょ・“伊豆王島”に住む高校1年生の安海相(やすみ・あい)。とある出来事がきっかけで漫画を“つくる”ことを意識し始める……

作品を生み出す苦しみも喜びも、余さず詰め込んだ漫画浪漫成長譚、開幕ッ!!!



『原作／とよ田みのる「これ描いて死ね」(小学館「ゲッサン」連載中)』
©とよ田みのる／小学館／王島南高校漫研

『株式会社マジルミエ』

“怪異”と呼ばれる自然災害が存在し、それらを退治する魔法少女が人々の憧れの職業として認知された世界を舞台にした“お仕事×魔法少女”のアクション漫画をアニメ化！待望の2期



©岩田雪花・青木裕／集英社・マジルミエ製作委員会

『天は赤い河のほとり』

少女漫画界の巨匠・篠原千絵の作品が、待望の初テレビアニメ化！
累計発行部数 2,000万部超！今もなお世界で愛される少女漫画の金字塔が、アニメとなって再び動き出す！



原作／篠原千絵「天は赤い河のほとり」(小学館刊)
©篠原千絵／小学館／アニメ「天は赤い河のほとり」製作委員会

アニメビジネス展開 ②

【Anime EXPO 2026】

北米最大級のアニメ関連イベント「Anime Expo2026」にて、「転生したらスライムだった件」が会場内最大級のビジュアルを掲出、期間中に開催したイベントも満席に。世界的な注目の高さを見せました。

「薬屋のひとりごと」においては、ライセンス先のクランチロールと日本テレビでイベントを共催しました。

同作は今年5月の「Crunchyroll Anime Awards 2026」において最優秀監督賞をはじめ5部門で主要賞を受賞するなど高い評価を得ています。イベントでは北米エリアでの人気を示す満員の約5,000人のファンが集結。熱量の高い盛り上がりを見せました。

「日テレ開国」の第一歩として、海外アニメイベント共催は成功。今後も様々な取組みで日テレアニメを海外で盛り上げます



©川上泰樹・伏瀬・講談社／転スラ製作委員会



海外ビジネス展開



●GYOKURO STUDIO 『Majority Rules』 現地版開発に向けた契約が成立

- ・ 2月に地上波で放送した「Majority Rules」は世界で高い人気を誇る「社会実験リアリティーショー」です。この度、海外大手制作配給会社2社とイタリア語圏、ドイツ語圏での現地版開発に向けた契約が成立しました。その他欧州諸国や、南米に向けた契約も交渉中です



2月に放送された「Majority Rules」



- ・ GYOKURO STUDIOは海外市場向けにバラエティー番組のフォーマット開発をしています。26年度は海外大手スタジオとの共同開発を視野に、市場ニーズに基づく精度の高いコンテンツ制作をおこなっていきます
- ・ グローバルプラットフォームへのオリジナル企画提案も積極的におこないます

コンテンツグローバル展開

ドラマ：『コントが始まる』 香港リメイク版が放送

2021年4月期に日本テレビで放送されたドラマで、菅田将暉・仲野太賀・神木隆之介が演じるお笑いトリオで話題を呼んだ『コントが始まる』が、香港版にリメイクされ、今年6月に香港大手メディアグループPCCW傘下の地上波テレビViuTVにて放送されました。

ストーリーや設定は日本テレビ版が踏襲され、10年間夢を追いかけたものの解散を決意したお笑いトリオの青年3人と人生に絶望していた姉妹が出会い5人それぞれが再び立ち上がる勇気を見出していく、ほろ苦い青春群像劇となっています。

初の海外版となる香港版のタイトルは『喜劇開場』。

キャストに香港ボーイズグループ「MIRROR」や「ERROR」のメンバーらトップスターが集結したこともあり、ViuTVにてここ1年間に放送されたオリジナルドラマの中で、トップ3に入る視聴率を記録するなど好調な展開となっています



香港版『喜劇開場』番組映像より

IPビジネス／音楽事業 ①

「HANA」

新人にして日本中を席卷！

「1億回再生」国内ダンス&ボーカルグループ史上最多記録を更新！

2025年4月のデビュー以来、HANAの快進撃が続く！Billboard Japanチャートで2億回再生を記録した『ROSE』『Blue Jeans』を筆頭に、1億回超えは国内ダンス&ボーカルグループ史上最多の計8曲に到達！デビュー1年目から女性アーティストとして令和初の「年間売上20億円突破」も達成。

Huluで見られる彼女たちのオーディション「No No Girls」や、デビュー後の番組「HANA-CHANnel」も好成績を記録し続けています。HANAの爆発的な成長は、まだ序章に過ぎません



「FOOTBALL DREAM MATCH」 2026年4月4日（土）@埼玉スタジアム
「ボーイズグループ×サッカー」という新たなIPビジネスの設計！
埼玉スタジアムで3万枚を完売！

「THE GAME CENTER -FOOTBALL DREAM MATCH-」は、SKY-HI、BE:FIRST、超特急、M!LK、THE RAMPAGE、FANTASTICS、INI、手越祐也、龍宮城等「サッカー経験者で構成されたアーティスト選抜」と、本田圭佑率いる「元日本代表レジェンズ」によるドリームマッチという新たなIPイベントを実施し、3万人超の観客を動員。「Going!Sports&News」ともコラボ、HuluでのTVOD配信も好成績を残し新たなマーケットの開拓に成功しました

IPビジネス／音楽事業 ②

マードーミステリー「THE TRUE PIECE」 2026年4月29日（水）～18公演@IMMシアター

アーティスト・ヒットIP×観客参加型「推理ゲーム」という新ビジネスの設計！

人狼ゲームと脱出ゲームを組み合わせたような、事件を題材にしたアドリブ謎解き劇「マードーミステリー」！「物語の登場人物」を演じる出演者たちも、誰が真犯人か知らない…真剣なアドリブのぶつかり合いがたまらない新感覚エンターテインメントです！



「DayDay.SUPER LIVE」 2026年5月15日(金)～17日(日)@日本武道館

番組連動型LIVEが3年目を迎え、豪華15組のアーティストが武道館に集結！

「DayDay.」のレギュラーメンバー、West.、FANTASTICS、&TEAMに加え、番組とも縁の深い MAZZEL、アイナ・ジ・エンド、THE RAMPAGE、そして東京スカパラダイスオーケストラ等人気アーティストが熱演！限定ステージに会場は熱狂の渦となりました

「VS.超特急LIVE」 2026年3月31日（火）4月1日（水）@有明アリーナ

今秋、遂に悲願の東京ドーム公演！

アーティストとして新たなステージにたどり着く超特急！

そんな彼らの冠番組1周年を記念した番組連動型LIVE設計！

有明アリーナで開催された「VS.超特急ライブ」は、番組とライブの密接な連動で超満員2万5千人を動員し大成功を収めました。

「ももいろクローバーZ」、「TAGRIGHT」、「Straight Angeli」といったグループが参加し、ヒットIPとライブイベントの効果的な循環システムを構築しています



イベントビジネス ①

『ルーヴル美術館展 ルネサンス』

日程・会場：

【東京】2026年9月9日(水)～12月13日(日)/国立新美術館 企画展示室 1E (東京・六本木)

ルネサンス期の最大の芸術家、レオナルド・ダ・ヴィンチの傑作の一つである《女性の肖像》、通称《美しきフェロニエール》が初来日を果たします。本展ではルーヴル美術館のコレクションから選び抜かれた50数点を通して、ルネサンス美術の特徴を浮き彫りにします。

展覧会アンバサダーとして北川景子、展覧会テーマ曲は角野隼斗が「Forma」を書き下ろすなど、この特別な展覧会を彩っていきます



『THE DESTINY』

日程・会場：

2026年7月31日(金)～8月2日(日)/東京・辰巳アイスアリーナ

ミラノ・コルティナ冬季五輪のフィギュアスケート・ペアで金メダルを獲得し、世界を魅了した“りくりゅう”こと三浦璃来、木原龍一プロデュースのアイスショーが誕生！

世界初の、ペア・アイスダンスをメインとした内容で、アイスショーでは珍しい競技と同じリンクサイズでスピード感やジャンプの躍動を存分に堪能していただけます！



イベントビジネス ②

『時をかける少女』20周年記念 細田守の原点/展

日程・会場：2026年6月20日(土)～8月31日(月) CREATIVE MUSEUM TOKYO (東京・京橋)

アニメーション映画監督・細田守の創作の原点に迫る大規模な展覧会が大好評開催中。『時をかける少女』『サマーウォーズ』『おおかみこどもの雨と雪』をはじめとする代表作に加え、学生時代～演出家時代の作品までもフィーチャーし、製作資料300点以上を展示。細田監督作品登場キャラクターの等身大フィギュアも登場し、作品の世界観を体感頂けます



アニメーションライブ「竜とそばかすの姫」

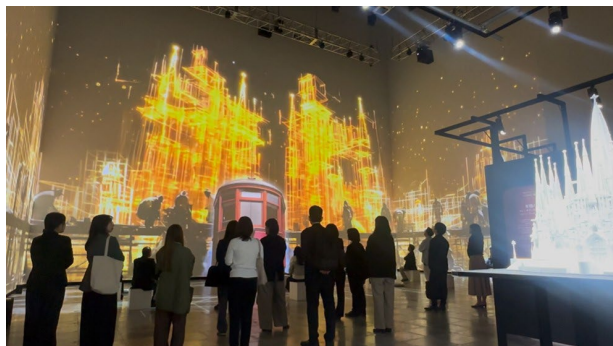
日程・会場：2026年10月10日(土)～11月某日 (予定) / MoN Takanawa (高輪ゲートウェイ)

国内興行収入66億、海外からの評価も高い、細田守監督作品史上最大のヒット「竜とそばかすの姫」(2021年)の公開から5年が経過した2026年10月。「竜とそばかすの姫」に登場した仮想世界「U」を舞台に、音楽・映像・ライブが融合する全く新しい体験型エンターテインメントがスタートします



『ガウディ没後100年公式事業 NAKED meets ガウディ展』

東京・大阪の2会場合計で累計33万人を動員し、盛況のうちに閉幕しました。本展は、スペインを代表する天才建築家アントニ・ガウディの没後100年とサグラダ・ファミリアのメインタワー「イエスの塔」完成という歴史的節目に合わせて、ガウディ財団の監修・協力のもとに企画された日本発の大規模な公式展覧会です。貴重な資料展示と独自の体験型アートを融合。ガウディの思想や自然の造形美を、没入感のあるインタラクティブな体験を通じて多角的に表現しました



Contents

株主還元・資本政策

決算概況

コンテンツ戦略

編成戦略・デジタル・配信

戦略的投資

補足資料

2026年4月クール 視聴率状況

2026/3/30～2026/6/28

	コア視聴率	個人視聴率
全日 (6～24時)	 2.1	 3.3
プライム (19～23時)	 3.4	 4.6
ゴールデン (19～22時)	 3.7	 5.0
モーニング (7～10時)	 2.5	 3.7
プラチナ (23～25時)	 1.4	 2.2



1位



2位

「コア視聴率」について

購買意欲が旺盛な13歳から49歳までの男女を「コアターゲット」と呼び、「個人全体」だけでなく、この層の視聴率を重視しています。**コア視聴率については14年連続で全日・プライム・ゴールデンでの三冠を獲得することができました。**個人もコアも上げていき、2026年は個人視聴率での三冠も目指しています

2026年4月クール トピックス

『FIFAワールドカップ2026』 中継で日本国民が熱狂！

「日本×チュニジア」が2026年全放送番組で最高視聴率！

日本代表のグループステージ第2戦「日本×チュニジア」を含め15試合を中継、GP帯の4つの特番、ニュース、情報番組も一体となって大会を盛り上げました。

日本時間6月21日(日)に行われた「日本×チュニジア」は本田圭佑さんの解説も話題となり、2026年全局の放送番組の中で最高視聴率を記録しました



OFFICIAL BROADCASTER

視聴率（13:00-15:00 試合開始～森保監督インタビュー）

個人全体平均視聴率 **22.5%**

コア平均視聴率 **19.0%** ※ビデオリサーチ調べ 関東地区

到達人数（12:30-15:00）

約**3,900万人** ※ビデオリサーチ調べ 全国



2026年度 今後の注目コンテンツ

誰かと見たい！一緒に応援したい！夏の生放送

2026 年8月29日(土)、30日(日)放送

24時間テレビ49 愛は地球を救う

テーマ わたしの家族の話～あなたは誰を想う？～

総合司会：内村光良・羽鳥慎一・水卜麻美

チャリティーパートナー：SixTONES・山崎育三郎・芳根京子

スペシャルサポーター：ちゃんみな チャリティーランナー：星野真里

ひとりひとりの「家族の物語」を通して見えてくる「社会のあり方や課題」を見つめていきます



2026 年8月31日(月) 19時放送

FIBAバスケットボールワールドカップ 最終予選

2023年、自国開催のバスケットボールW杯で3勝をあげてアジア最上位に！歴史的躍進を見せた日本代表の新たな戦いを再び日本テレビが応援します。2027年のワールドカップ出場をかけたアジア最終予選カタル戦を中継、スペシャルキャスター菊池風磨と全力で見届けます。

8月15日(土)には、ライバル韓国とのスペシャルマッチもお届けします



2026年度 今後の注目コンテンツ

10月期は 超話題のドラマをラインナップ！

2026 年10月期ドラマ

俺たちの箱根駅伝 出演：大泉洋 伊藤沙莉 山下智久 ほか

原作は国民的作家池井戸潤が十年以上の歳月と情熱を注ぎ、書き上げた傑作。長きにわたって正月の風物詩「箱根駅伝」を中継してきた日本テレビが、関東学連の全面協力を得て、完全ドラマ化します。

理不尽に立ち向かうテレビマン、どん底から逆転を狙うランナーと新人監督。箱根駅伝にすべてをかける者たちの熱き闘いを総力をあげて映像化します



2026 年10月期ドラマ

メリーベリーラブ 出演：チ・チャンウク 今田美桜 ほか

「愛の不時着」など世界的ヒット作を生み出すCJ ENMとの初の共同制作ドラマ。日韓2大スターがW主演、一夜にして全てを失った韓国人の空間プランナーと病を抱えながらもイチゴ栽培に情熱を傾ける日本の農業女子による国境を越えた甘酸っぱいロマンティック・ラブコメディです。

ディズニープラスでの世界配信も行います



2026年度 今後の注目コンテンツ

あの伝説のクイズ番組が復活！！

年末年始放送予定

アメリカ横断ウルトラクイズ MC：櫻井翔

「ニューヨークへ、行きたいかー！？」
数々の人間ドラマを生んだ伝説の視聴者参加型大型番組
「アメリカ横断ウルトラクイズ」が復活します！

番組誕生50周年を記念し、地球一周規模に超スケールアップ！
ヨーロッパ、アフリカ、そしてアメリカへ、3大陸を横断しながら
世界の名所・旧跡で繰り広げられる様々なクイズをクリアし、
決勝の地ニューヨークを目指します。

「知力・体力・時の運」にくわえ、知識を超える「推理力」も
求められる令和のウルトラクイズ。
人生をかけた史上最大の極限クイズサバイバルが始まります



配信事業：HJホールディングス

(単位：百万円)	売上高	営業利益
2026年度第1四半期	7,975	393

オリジナルコンテンツおよび独占配信コンテンツ拡充で新規会員増へ

■ Huluオリジナル「ミステリーシネマ」、日テレドラマシーズン2 他が人気！

4月始動の傑作ミステリー小説の1話完結本格ドラマ「ミステリーシネマ」が大好評！
日テレドラマ「パンチドランク・ウーマン - 脱獄まであと××日 -」のシーズン2
/Huluオリジナルのヒットやドラマ「今日から俺は!!」がリバイバルヒット！



■ 「juice=juice」など、アーティストライブのSVOD化も話題に！

■ Hulu日本国内独占配信中の「MotoGP」、小椋藍選手が日本人選手22年ぶりの優勝で過去最大の視聴数を獲得！今後の活躍も目が離せない！！

■ Huluオリジナルドラマ「八神瑛子」7月24日からの独占配信開始！

累計50万部超の大人気警察小説（深町秋生原作）を黒木メイサ主演で連続ドラマ化
復讐サスペンスの超大作として7月からの独占配信開始（全5話）



配信事業：TVer（AVOD）

TVer 状況

◆ UB数	4月 2678万	5月 2635万	6月 2562万
再生数	4月 5.2億	5月 5.2億	6月 4.9億



日本テレビの取組

バラエティジャンル UB数全局 1位

「上田と女が吠える夜」「月曜から夜ふかし」「世界の果てまでイッテQ！」
 「上田と女がDEEPに吠える夜」「嗚呼!!みんなの動物園」「Golden SixTONES」
 等の人気バラエティが引き続き好調！

「月夜行路 – 答えは名作の中に –」 全話平均再生数 4月期ドラマ全局 1位！
 平均再生数が178万再生で4月期ドラマの中で1位を獲得



日本テレビ サッカージャンル 再生数歴代2位！ 日本テレビ TVerスポーツライブ配信 同時接続数歴代3位！

5月31日にワールドカップ前の国内最終戦として「キリンチャレンジカップ 日本×アイスランド」をTVerにてライブ配信

日本テレビサッカージャンルにおいて歴代2位の再生数 145万

日本テレビ TVerスポーツライブ配信において歴代3位の同時接続数 26.5万

配信事業：メディア開発

■「原宿てれび。」概要

◆原宿てれび。概要

人気アイドルCANDY TUNEを中心としたメンバーで繰り広げられるシチュエーションコメディ×バラエティのデジタル番組
YouTubeとTikTokなどの縦型メディアでコンテンツを配信

◆ライブイベントを開催

シチュエーションコメディ・バラエティ・ライブを横断する体験型イベントとして2026年7月1日、豊洲PITで実施！

◆今後の展望

日本のアイドル文化を発信するプロジェクトKAWAII LAB.を運営するアソビシステム社の人気アイドルも出演し、原宿に常設スタジオセットを設置など、単発番組ではなくIP全体としての価値向上を図っていく

■縦型動画ブティック「VIRAL POCKET」概要

スマホ時代のコンテンツに特化した新組織。SNS総再生27億回超えのショートドラマ『毎日はいかむ僕たちは。』や、CANDY TUNE主演のシチュエーションコメディ番組『原宿てれび。』、Z世代に人気のショートバラエティー『ちょこっとぱーちー』など、スマホ特化型コンテンツを多数展開



会場と一体で盛り上がった、初ライブイベントの様子

Contents

株主還元・資本政策

決算概況

コンテンツ戦略

編成戦略・デジタル・配信

戦略的投資

補足資料

主な戦略的投資の推移

	中期経営計画 2016-2018	中期経営計画 2019-2021	中期経営計画 2022 - 2024	中期経営計画 2025 - 2027
コンテンツ・ グローバル領域	   	  	     	
ウェルネス領域 新規事業領域 ほか			  	 
その他含めた 総投資額	220億円	290億円	366億円	533億円

KANAMELグループとのシナジー創出

KANAMELグループとのPMIプロジェクトが発足し、コンテンツ企画共同開発、人材交流を開始

■没入映像バラエティ「答えて進め！ワンダークルーズ」制作・放送

TREE Digital Studioが保有する大型LEDパネルでアトラクション型の没入映像体験をプロデュースし、新バラエティー番組として共同開発



■「ヤンキー激戦区の四天王がアイドルグループに転生したら？」

ドラマ制作・放送

日テレMusic & Artistセンターが、脚本にオークラ、主演に≠ME（ノットイコールミー）を迎えたアーティスト連携オリジナルドラマをAOI Pro.と制作。ドラマ公式SNSをティー・ケー・オーと運用

AOI Pro.
tko



■コンテンツ企画開発と人材交流の加速

2027年度に向けた映画・ドラマの共同企画開発が進行中

FMXのマーケティング人材が日テレマーケティングセンターに出向し、大型コンテンツのマーケティング戦略策定を推進



KANAMELの完全子会社化

■ グローバル市場を見据えたコンテンツ製作強化

- 日本テレビホールディングスは、KANAMELの株式を投資総額483億円で取得し、完全子会社化しました
- 「グローバルコンテンツ企業への変革」に向けた、IP創出と制作体制強化を図る戦略的投資として実行しました



AOI Pro.



■ KANAMEL株式会社 概要

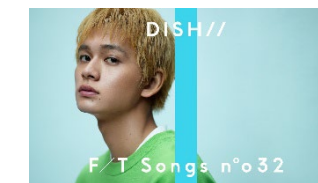
- KANAMELは AOI Pro.、TYO、TREE、FMX、FMSを中核とする国内外26社からなるホールディングス会社
- 売上高783億（2025年12月期）、従業員数1,956名（2025年12月末）
- 広告映像制作市場で国内トップシェア実績を誇る
- 映画・ドラマ等の映像作品においても国内外で数々の賞を受賞
- 卓越したクリエイティブ能力を基盤にコンサルティング事業も伸長



映画「8番出口」
©2025 映画「8番出口」製作委員会



映画「爆弾」
©2025映画「爆弾」製作委員会



三井不動産 三井のすずちゃん
THE FIRST TAKE

KANAMEL/AOI Pro.発グローバルコンテンツ

AOI Pro.を中心にグローバルコンテンツを創り出す取組が進行しています

■映画「わたしの知らない子どもたち」西川美和監督作品

- 第51回トロント国際映画祭コンペティション部門で、日本映画初となるオープニング上映作品に正式決定
- 西川美和監督が、第二次世界大戦で家族を失った子どもたちを描くオリジナル作品



©2026 K2 Pictures・AOI Pro.

■ストップモーション時代劇「HIDARI」

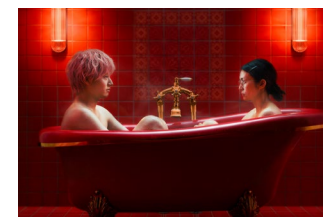
- コマ撮りアニメを手掛けるdwarf studiosが、Whatever、TECARATと共に制作する「HIDARI」の主演声優にキアヌ・リーブスが決定し、カンヌ国際映画祭で発表！



©HIDARI

■Netflixオリジナル映画「余命一年、男をかう」

- AOI Pro.映画ドラマ制作部所属の風間太樹監督、初のNetflixオリジナル映画を配信



■Netflixオリジナル映画「僕の狂ったフェミ彼女」

- 韓国の大ヒット小説を実写化、AOI Pro.が制作プロダクションとして参画



XRクリエイティブテックカンパニー「NeoRealX」

- 2026年5月、株式会社NeoRealXを子会社化するとともに、**3.5億円**の追加出資を行いました
- 2023年に日本テレビが出資するジョイントベンチャーとして設立されたNeoRealXは、**XR技術・AI技術・映像制作力**を掛け合わせ、従来の映像の枠を超えた「**体験価値**」を創出する**XRクリエイティブテックカンパニー**です
- 2025年には当社グループとして初めて、国内の先進映像やコンテンツを表彰する「**ルミエール・ジャパン・アワード**」**VR部門グランプリ**を受賞するなど、高い技術力とクリエイティブ力が評価されています
- 地方創生、防災、観光DX、産業DXなどの**社会課題解決に取り組む**とともに、**日本テレビグループのコンテンツIPや映像資産とXRを融合**した新たな事業創出を推進しています
- 今後は**XR・AI・空間コンピューティング領域**における成長を通じて、日本テレビグループの新たな収益機会の創出を目指します

NeoRealX



Contents

株主還元・資本政策

決算概況

コンテンツ戦略

編成戦略・デジタル・配信

戦略的投資

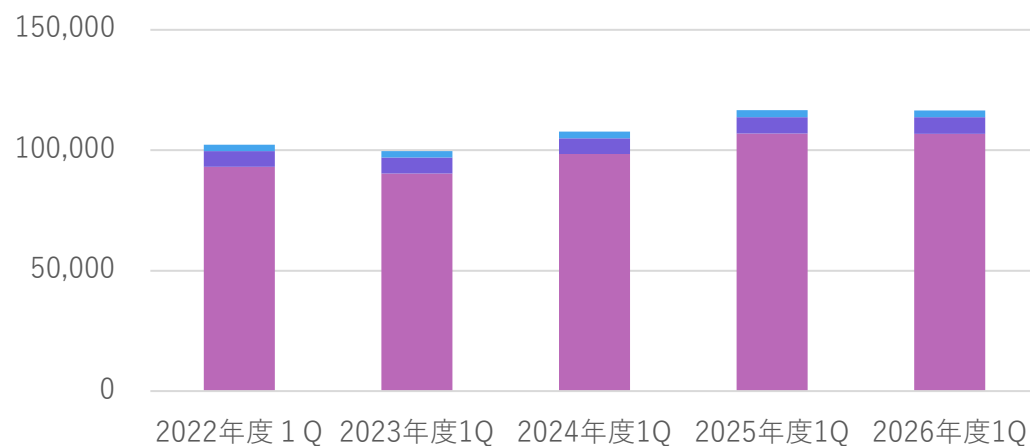
補足資料

セグメント別実績

(単位：百万円)

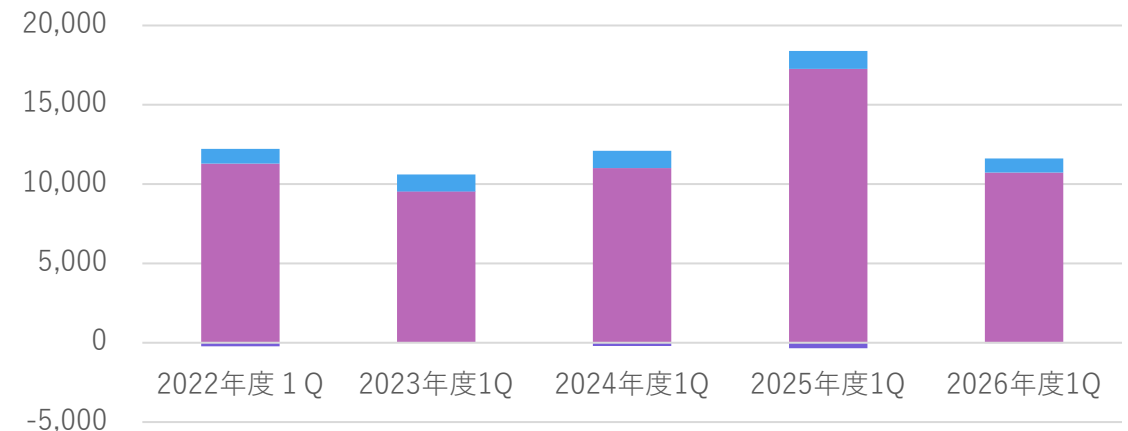
	売上高			営業利益		
	2025年度 1Q	2026年度 1Q	増減	2025年度 1Q	2026年度 1Q	増減
コンテンツ・メディア事業	107,000	106,798	△201	17,257	10,719	△6,538
ウェルネス事業	6,683	6,936	253	△354	△22	332
不動産関連事業	2,926	2,829	△96	1,135	902	△233

セグメント別 売上高



■ コンテンツ・メディア事業 ■ ウェルネス事業 ■ 不動産関連事業

セグメント別 営業利益



■ コンテンツ・メディア事業 ■ ウェルネス事業 ■ 不動産関連事業

日本テレビ放送網スポットセールス出稿業種別比較

スポットセールス出稿業種別比較

	2025年度 1Q	シェア	増減率
1	サービス	18.3%	27.5%
2	化粧品・トイレットリー	13.2%	14.0%
3	通信・ゲーム	7.1%	△ 3.8%
4	金融・保険業	6.7%	23.5%
5	アルコール飲料	6.0%	9.2%
6	映画・演劇興行	4.6%	25.9%
7	薬品	4.4%	13.9%
8	電気機器	4.2%	△ 1.4%
9	輸送機器	4.1%	12.4%
10	非アルコール飲料	4.1%	△ 4.4%

	2026年度 1Q	シェア	増減率
1	サービス	16.8%	△ 19.3%
2	化粧品・トイレットリー	12.4%	△ 17.6%
3	通信・ゲーム	9.2%	14.0%
4	金融・保険業	6.5%	△ 14.8%
5	輸送機器	5.0%	6.7%
6	流通・小売業	4.7%	9.3%
7	映画・演劇興行	4.6%	△ 12.6%
8	食品＜乳製品調味料＞	4.5%	△ 0.8%
9	アルコール飲料	4.3%	△ 37.1%
10	薬品	4.2%	△ 16.7%

2026年 映画事業の主なラインナップ ①

★＝日テレ幹事作品
●＝共同幹事作品
■＝出資作品

公開	作品名	配給	備考	
9/4 (金)	●白鳥とコウモリ	松竹	シリーズ累計発行160万部突破。ミステリー界の巨匠・東野圭吾が「今後の目標は、この作品を超えることです」と認めた新たなる最高傑作が実写映画化 原作：東野圭吾「白鳥とコウモリ」（幻冬舎） 監督：岸善幸 脚本：向井康介 出演：松村北斗 今田美桜 ほか © 2026「白鳥とコウモリ」製作委員会	
秋	●バッド・ルーテナント：トウキョウ	日本配給：SONY 北米配給：NEON	カンヌ国際映画祭パルムドール＆米アカデミー賞最優秀作品賞のW受賞『パラサイト 半地下の住人』『ANORA』の北米映画会社NEONが配給するハリウッドとの共同製作映画企画。 型破りの刑事と秘密を抱えるFBI捜査官が猟奇殺人事件に挑むスリラーサスペンス 監督：三池崇史 脚本：天願大介 主演：小栗旬 出演：リリー・ジェームズ（『シンデレラ』等）、間宮祥太郎 リヴ・モーガン（WWE女子世界王座）、野村周平、西野七瀬、向里祐香、岩田剛典 渡邊圭祐、中野英雄、村上純、國村隼、舘ひろし 他 © 2026 BLT TOKYO LIMITED. All Rights Reserve	
12/11 (金)	■劇場版 薬屋のひとりごと 亡妃の秘宝	東宝	大人気TVアニメシリーズの劇場版。原作・日向夏先生の完全新作オリジナルストーリー 水上都市を舞台に、猫猫、壬子、そして劇場版新キャラクター達が活躍するシリーズ史上最大のミステリーを圧倒的世界観でお届けします 原作：日向夏（ヒーロー文庫／イマジカインフォス刊） キャラクター原案：しのとうこ 監督：長沼範裕 出演：悠木碧（猫猫）、大塚剛央（壬子）他 アニメーション制作：TOHO animation ©2026 劇場版「薬屋のひとりごと」製作委員会 ©日向夏・イマジカインフォス	

2026年 映画事業の主なラインナップ ②

★＝日テレ幹事作品
●＝共同幹事作品
■＝出資作品

公開	作品名	配給	備考	
12/25 (金)	★SUKIYAKI 上を向いて歩こう	東宝	世界的な大ヒット曲「上を向いて歩こう (SUKIYAKI)」の誕生秘話。名曲制作の裏に秘められた、六八九トリオ（永六輔、中村八大、坂本九）の友情と葛藤を描く感動物語を、クオリティ高い演奏シーン満載の本格音楽映画として、劇場で堪能できます 監督：瀬々敬久 脚本：港岳彦 音楽監督／音楽：岩崎太整 音楽：林正樹 出演：岡田准一 松坂桃李 仲野太賀 清野菜名 上白石萌音 吉岡里帆 前野朋哉 こがけん／仲里依紗／土屋太鳳 阿部寛 薬師丸ひろ子 ほか © 2026 映画「SUKIYAKI 上を向いて歩こう」製作委員会	
1/29 (金)	★カイジ 人生リベンジゲーム	東宝	日本テレビを代表する大ヒット映画『カイジ』シリーズの第四弾が7年ぶりに帰ってくる。デスゲーム映画の”元祖にして頂点“の本シリーズ最新作では、史上最大級ともいえる新たな闘いが繰り広げられる 原作：福本伸行『カイジ』（講談社「ヤンマガ」所載） 監督：佐藤東弥 脚本：山口雅俊 脚本協力：福本伸行 出演：藤原竜也 高杉真宙 南沙良 寺島進／亀梨和也 ©福本伸行・講談社／2027 映画「カイジ 人生リベンジゲーム」製作委員会	